



新春学習講演会

「台湾有事」を起させないために

1月24日国労大阪会館で新春

います

学習講演会が大阪広京都大学・慶應義塾大学名誉教授を迎えて開催、テーマは「台湾有事」を起させないために、東アジアの平和と安定と友好をどうつくりていくのかを講演されました。

参加者は104人、台湾ブックレットは40冊売れました。講師の大西先生が5冊持参された著書「反米自立論」も完売でした。講演会の参加者の感想は32人の方が提出されました。運営も講演内容もおおむね高評価でした。

大西さんが自らのフェースブックに講演会の様子を掲載されていました。

参加者の感想から

参加者104名の内32名の感想が寄せられました。感想の多くでは講演者大西氏の「少数民族」と多数者、少数民族と少数民族」という視点への共感が述べられています。

「日本本土では沖縄の基地問題が自分事として受け止められていなきことを改めて考えさせられた。そこをふまえれば、台湾に独立を宣言させて中国と台湾の内政問題に米日政権（米日安保体制）が軍事介入するシナ

には『軍隊がなくとも外交権は付与されてもいいのではないか』と発言しましたが、山本恒人大阪経済大学名誉教授は以下に示す1981年の葉劍英提案では『統一はしても独自の軍隊を台湾は持てる』という提案をしていました。

（講談社+α新書）

『バブルと資本主義が日本を潰す』（ちくま新書）
『反米の選択』（ワニブック）など多数。

講演をしてきました。国会解散の直後の土曜日ということで、参加者が少なくなるかと思いつか、慌ててイスを用意しなければならないほどの満席で100名を越えました。

また、ここで私は将来の台湾には『軍隊がなくとも外交権は付与されてもいいのではないか』と発言しましたが、山本恒人大阪経済大学名誉教授は以下に示す1981年の葉劍英提案では『統一はしても独自の軍隊を台湾は持てる』という提案をしていました。

（講談社+α新書）



2026年2月号
日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0012
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:info@jcfaosaka.org
ホームページ
http://jcfaosaka.org/

（おおにし・ひろし）

1956年生まれ。

京都大学経済学部卒業、同大学院経済学研究科博士後期課程修了。経済学博士。慶應義塾大学・京都大学名誉教授、世界政治経済学会副会長。北東アジア学会元会長。

講師プロフィール
大西 広

西支部映画会
府連教室 205号室
2月22日（日）2時
映画「レッドパージ」

GHQ（アメリカ）・日本政府の命令により、企業で民主主義を訴える人・その同調者が職場方追放された1949年から1950年に起つた事件です。その人たちは再就職もままならず路頭に迷つた人4万人といわれています。最近になり人権侵害であつたと裁判を起こし、戦後、国民が主人公になれなかつた原点ともいわれています。

講演会は【高市首相「台湾有事」】国会発言と日中友好そして、私たちの健康を考える】をテーマに浅田支部長が講演しました。アンケートには、「時を得たアンケートには、「時を得た」をひきながら「桃源郷そして平和を」を軸になさつたお話を説得力溢れ、好評でした。（上村）

評論家樋口恵子氏の「長寿はなにといつても平和の賜物です」をひきながら「桃源郷そして平和を」を軸になさつたお話を説得力溢れ、好評でした。（上村）



協会本部 台湾有事問題シンポジウム パネリストに台湾から盧 傑儀さん

日本中国友好協会本部は、3月29日（日）2時から台東区民会館で「台湾有事問題」シンポジウムを、会場およびオンラインのハイブリッド形式で開催いたします。

パネリストは日本中国友好協会会長 井上久士さん、外交問題評論家 元外務省国際情報局局長 孫崎享さん、「平和を求める軍拡を許さない女たちの会」共同代表 田中優子さん、台湾研究所研究員 蘆 傑儀さん、コ

デイネーターは日本中国友好協会副理事長 大西広さんが担当します。

「台湾有事問題」シンポジウムはオンライン視聴になります。府連は205号室で参加します。



日本においても少数民族が存在します。北海道のアイヌ民族、

沖縄の琉球民族その人達の意見も考慮することも必要と気付かされました。今一番、タイムリーな話題がテーマでした。また、話題性のあるテーマ、時事問題などあれば参加したいと思いまして。

CCTVが取材に来られました。山本恒人会長がインタビューを受けました。

また、少数民族（民族）は、多数派意見（民族）に民主主義のルール多数決原理で反映され

ます。日本においても少数民族が存

在します。北海道のアイヌ民族、

沖縄の琉球民族その人達の意見も考慮することも必要と気付かされました。今一番、タイムリーな話題がテーマでした。また、話題性のあるテーマ、時事問題などあれば参加したいと思いまして。

CCTVが取材に来られました。山本恒人会長がインタビューを受けました。

また、少数民族（民族）は、多数派意見

